

令和5年度 学校評価 丹波市立黒井小学校 パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	<p>「自分に自信をもち、地域に誇りをもつ心豊かな子の育成」</p> <p>自信をもって人生を切り拓いていくための「学力」を育成するとともに、地域から学び、自分たちの地域を愛する 心豊かな子どもたちを育成する</p> <p>[自信をもち・自ら学ぶ] 課題を見つけ学び続ける (自立した学習者)</p> <p>[地域に誇りを持つ] 人とつながり地域を学ぶ (地域とともにある学校)</p> <p>[心豊かにたくましく生きる] 自他の命や人権を大切にする (人権意識の醸成)</p>
本年度の重点目標	<p>①児童理解の促進…コロナ禍を経て不登校や不登校傾向、いじめ、問題行動等の防止に向けた職員間での情報共有の充実と早期発見、早期対応。</p> <p>②地域・家庭との協働…学校運営協議会を軸に地域の教育資源の活用をすすめることや学習課題等を家庭と共有することで学力の向上を図る。</p> <p>③学力の向上…「主体的・対話的・深い学び」のための授業改善と学習の個別最適化にむけた学習課題等における家庭学習との接続を大切にする。</p> <p>④体力の向上と安全…防災・安全教育、感染症対策の徹底による安全で安心できる学習環境づくりに努める。運動能力調査の結果を活用し能力の向上を図る。</p>

2 自己評価 (達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善)

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の教育資源活用 (ふるさと学)</li> <li>学校運営協議会の推進 (C・S)</li> <li>学校情報の積極的な発信 (学校だより「絆」、ホームページ、さくらメール等の活用)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の持つ教育資源 (人・物・組織等) を学校支援コーディネータとの協働により児童の学習に活用する。</li> <li>学校運営協議会 (コミュニティ・スクール) を推進するなかで、学校・地域・家庭の「子どもたちの学びの充実」にむけた熟議を継続実施することで協働活動を充実させる。</li> <li>学校の教育情報を積極的に発信する。(学校だより「絆」、ホームページ、さくらメール等の活用)</li> <li>学力学習状況調査結果や各種調査結果、保護者アンケートの結果、学校評価の結果を公表し、説明責任を果たす。</li> </ul>
教育課程	学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」および「書くこと」の指導の充実にもむけた授業改善の取組</li> <li>個別最適な学びにもむけた支援の充実</li> <li>ICT環境を活用した学習時間の充実</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて、国語科等の説明的な文章において「読む」・「書く」力を育むことを通して考えを深め、「主体的・対話的・深い学び」の実現を目指す。</li> <li>個別の学習課題を明確化し、個別の課題を家庭学習や朝のスキルタイムに取り組むことで課題解消を目指す。</li> <li>一人一台のタブレットPC等を活用し、自ら課題を持ち、調べて、まとめて発信する、「情報活用能力」を育成する。</li> <li>学習の結果のみでなく学習課題の解決に向けた取組経過を認めることで自己肯定感を育み、学び続ける意欲を育てる。</li> <li>デジタル教科書等のICT環境を活用し、主体的な学びに向けた授業づくりをすすめる。</li> </ul>

課題教育	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づく支援の充実</li> <li>・児童・保護者への啓発活動の実施</li> <li>・関係機関等と連携した支援体制の充実</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域、在籍児童に対して、本校の取組む特別支援教育について、機会を捉え、繰り返し、啓発を行う。</li> <li>・特別な支援が必要な児童、一人ひとりの実態を把握し、共通理解し、職員全体での支援体制のあり方や対象児童の変容を共有し個に応じた支援を充実させる。</li> <li>・認定こども園かすが花の子園等の就学前の教育・保育機関と連携し、就学前からの相談・支援体制の充実を図る。</li> <li>・基礎的環境整備と合理的配慮に基づく教育支援計画（サポートファイル）や個別の指導計画（ピンクファイル）を作成し、学校と保護者、関係機関等で情報を共有し、支援の充実を図る。</li> </ul>
------	--------------------------	--	---

### 3 学校関係者評価

<p>(1) 全体を通じて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、コロナ禍を経て、子どもたちの心の支援に焦点を当てた取組を中心に実施していたように考える。コロナの影響が様々な面に出てきている中で、今後も課題のある児童の支援を継続してもらいたい。</li> </ul> <p>(2) 特別支援教育、学力保障について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育においては、保護者や支援の必要な児童一人ひとりの教育的ニーズをしっかりと把握して行ってほしい。また、子どもたちの個別の学習課題に沿った指導をしていくことで、基礎・基本的な内容の定着を大切にしていきたい。</li> </ul> <p>(3) 地域との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟議などの学校運営協議会の取組を継続、推進し、地域との連携を深めてもらいたい。</li> <li>・学校の情報がいろいろな形で発信されている。これからも子どもたちの様子を中心に積極的に発信して行ってほしい。</li> </ul>
--

### 4 次年度の改善の方向性

<p>学校教育目標の最初にもあげているようにコロナ禍を経た子どもたちに自信を取り戻すことを第一に考えた学校づくりをした。子どもたちの心の安定、安全で安心して通える学校づくりを目指して「複数担任」や「児童の背景理解」、「肯定的な注目」などにも注力した。不登校やいじめ事案等において一定の効果があったと感じている。</p> <p>職員研修においては、「主体的・対話的・深い学び」の充実にむけた授業改善やタブレットPC等、ICT機器の活用などにも取り組み児童の学習意欲の向上に資した。</p> <p>今年度の熟議の結果や学校評価の結果、教育反省を踏まえ、学校運営協議会と協働しながら家庭・学校・地域が一体となり、子どもたちにとってよりよい学校づくりに努めたい。</p> <p style="text-align: right;">令和6年3月21日 学校名 丹波市立黒井小学校 校長名 谷口 千尋</p>
---